

# 県議会だより いしかわ



石川県議会  
マスコットキャラクター  
**石若丸**  
いし わか まる

## 文化立県・石川の新たな“知の殿堂” 新石川県立図書館開館へ、準備着々

金沢大学工学部跡地（金沢市小立野2丁目）で、新石川県立図書館の建設工事が着々と進められています。新県立図書館は、現県立図書館（金沢市本多町3丁目）の老朽化や狭い閲覧スペース、駐車場の不足などといった課題を解決するために移転するもので、令和4年度前半の開館を目指しています。開放的な吹き抜けの周りを書架が取り囲む円形劇場のような大閲覧空間や、伝統文化や里山に関する石川ならではのコレクションのほか、公文書館機能など、さまざまな特色を盛り込む予定で、図書の貸し出しや閲覧だけでなく、県民の多様な文化活動や文化交流の場として整備していく計画です。

文化立県・石川の新たな“知の殿堂”にふさわしい施設となるよう、県議会でも取り組み状況をしっかりとチェック。県執行部とともに、県民の皆さまに親しまれる新たな図書館の誕生に向けて力を注いでいきます。



今号の  
トピックス

- キーワードで見る県議会「金沢城公園 二の丸御殿」
- 石若丸が教える！「1からわかる」県議会教室

## キーワードで見る県議会

# 「金沢城公園 二の丸御殿」

## 金沢城復元の総仕上げ 令和3年度、表向の基本設計に着手

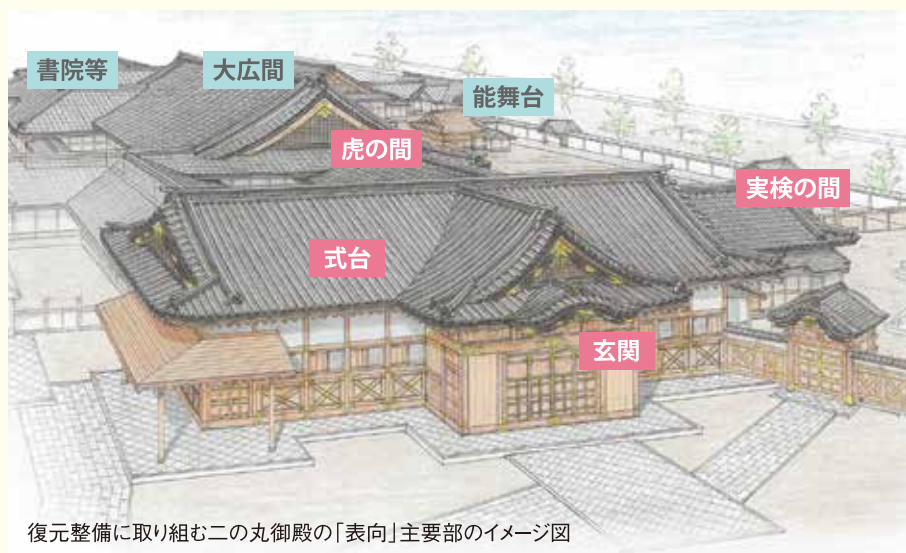
加賀百万石の往時をしのぶスポットとして多くの人でにぎわう金沢城公園。平成から現在まで史実を尊重した復元工事が進められてきました。令和3年度には、明治14年の火災で焼失した「二の丸御殿」の基本設計に着手します。

二の丸御殿は、約240年にわたって政治を執り行ってきた金沢城の中核と言える建造物です。県では、令和2年度の埋蔵文化財調査で、政務や儀礼の場であった「表向」（約1800坪）の位置をおおむね特定しており、その中で金沢城の特徴が色濃く表れる玄関や大広間、書院など約1000坪の復元を

予定しています。

今回、基本設計に取り組むのは、表向の正面となる玄関、客人を出迎える式台、客人が控えた虎の間など約240坪。今後、エリアを分けて順次、整備・公開していく予定です。県が“金沢城復元の総仕上げ”と位置づける一大プロジェクトに関して、県議会でも活発な質疑を展開しています。

最初に復元整備の対象とする棟等



復元整備に取り組む二の丸御殿の「表向」主要部のイメージ図

## 「金沢城公園 二の丸御殿」に関する主な質問と答弁（2月定例会）

### 金沢城公園 二の丸御殿について

**Q.** 二の丸御殿の復元整備はどのように取り組むのか。

**A.** 復元整備は、当初より一貫して、史実に沿った本物志向の姿勢で進めてきたことが、全国的にも高い評価をいただいていると認識している。

これまでの技術の蓄積、長年にわたる調査研究と新たな史料の確認を踏まえた昨年2月の二の丸御殿調査検討委員会の報告、さらには令和2年度の埋蔵文化財調査などの成果により、史実性の高い復元への機は熟したと考え、令和3年度から復元整備にとりかかる。

整備は、政務や儀礼の場であった「表向」のうち、御殿の特徴となる造りや装飾が見られる部分を対象に段階的に進め、まずは、御殿の正面である玄関や式台から着手し、令和3年度は、各分野の専門家による委員会を設置し、技術的な指導や助言をいただきながら、建物の基本設計を行うほか、「金沢城二の丸御殿復元整備推進室」を設置し、推進体制を強化する。

また、完成を待つことなく、工事の節目において、県民の皆様には整備の状況をご覧いただき、御殿の魅力に触れていただけるよう、さまざまな工夫を凝らしていく。

**Q.** 二の丸御殿の外観や内装を復元するための材料などは確保できるのか。

**A.** 二の丸御殿は、これまで復元整備を進めてきた門や櫓と異なり、数多くの飾金具や障壁画に彩られた豪華絢爛なまさに加賀百万石を象徴する建物であったことが、史料などから明らかになっている。

復元整備にあたっては、基本設計を行う中で、木材の種類、屋根の仕様など御殿の造りや飾金具、障壁画など御殿ならではの装飾について詳細な検討を行う。内装のしつらえに関わる技能者や材料の確保については円滑に整備が進められるよう、他県の事例も参考にしながら、まずは県内の状況の把握に努めるなどの準備を進める。

二の丸御殿の復元は、県の個性である質の高い文化にさらなる厚みを加えるものであり、史実に沿った本物志向の姿勢で、着実に整備を進めていきたい。



令和2年度、埋蔵文化財調査を実施

## 新型コロナウイルス感染症

# 生活の安全・安心を確保するため さまざまな角度から質疑を展開

新型コロナウイルス感染症の収束の鍵を握っているワクチン接種が、県内でも始まりました。県議会では、新たな局面を迎えたコロナ対策に関して、さまざまな角度から質問しています。



### 「5つの場面」に気をつけよう

1

飲酒を伴う  
懇親会

2

大人数や長時間の  
飲食

3

マスクなしでの  
会話

4

狭い空間での  
共同生活

5

居場所の  
切り替わり

## 2月定例会における主な質問と答弁

### ワクチン接種について

**Q.** ワクチン接種の不安を払拭する情報提供の検討状況は。

**A.** 県民の皆様からの副反応などに関する専門的な相談に対応するコールセンターを3月20日に設置するとともに、副反応を疑う症状が出た場合の受診窓口を4月のできるだけ早い時期に設置したい。ワクチンに対する科学的知見を集約する国には、国民にしっかりと広報することや、地方自治体や医療機関への速やかな情報提供を要望している。

### 差別の解消について

**Q.** 新型コロナウイルス感染症に係る差別の解消の推進に関する条例制定を踏まえた今後の取り組みは。

**A.** 条例では県の責務として啓発や教育などを行うこととしており、令和3年度早々に「コロナ差別解消推進キャンペーン」として県民全体に向けた幅広い周知を行うほか、企業対象の研修事業や、児童・生徒による啓発ポスター展などを行う。条例制定と併せてこれらの施策を推進し、差別のない社会の実現に向け、一層の啓発等に取り組んでいく。

第4回 石若丸が教える!

## 1からわかる「県議会教室」

# “県議会のあゆみ”



県議会の役割や仕事を紹介するシリーズ企画「県議会教室」の第4回のテーマは「県議会のあゆみ」。県議会がどのような歴史をたどってきたのか、その概要を紹介します。

## 初の議員選挙は明治12年4月

### Question

石川県議会は、県民の生活に関わるさまざまな議題について話し合い、決定しています。このような場は、いつ誕生したのですか？ 県議会の歴史について教えてください。

### Answer

石川県議会の始まりをたどると、明治6年にまでさかのぼります。前年に発布した会議仮条例に基づき、この年の3月から戸長（明治政府が戸籍事務のために設けた区の長）による会議を毎月2回開催することになり、同8年からは県会という名称で呼ばれてきました。ただ、この頃は、県から意見を求められるだけの諮問的機関に過ぎませんでした。

大きな転換点となったのが、同11年7月の府県会規則の制定です。県会が地方税でまかなう経費とその徴収方法を審議する場となり、その議決をもとに県令（後の知事）が執行する体制となりました。そして、翌年4月に初の県会議員選挙が行われました。

その後、昭和2年に普通選挙による初の県会議員選挙を実施。そして、戦後、新憲法の発布、地方自治法の施行によって民主化が飛躍的に進み、県議会の機能も大きく拡充されていったのです。

### 県議会議事堂の変遷

#### 明治12年

勤業博物館（現いしかわ生活工芸ミュージアム〈金沢市兼六町〉）の一部を議事堂として使用

#### 明治35年

金沢市広坂の県庁舎西横に議事堂を建設

#### 昭和14年

焼失。仮議事堂に移る

#### 昭和28年

新たな議事堂（金沢市広坂）が完成。杜若（かきつばた）像も設置した（現在は議会庁舎1階エントランスホールに展示）



#### 平成15年

県庁舎の移転に伴い、金沢市鞍月議事堂を建設・移転

県議会の活動を伝える広報紙

# 県議会

第36号 だより

編集・発行 / 石川県議会（年4回発行）  
令和3年3月31日発行

## 県議会の傍聴や見学ができます！

●お問い合わせ 石川県議会事務局企画調査課

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地  
TEL 076(225)1036 FAX 076(225)1037

石川県議会 ホームページ <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/>

石川県議会

検索



県議会に対する  
ご意見・ご提言を  
お寄せください。

県議会では、県民の声を取り入れた運営に力を注いでいます。ご意見やご提言は、下記のE-mailからもお送りいただけます。ぜひ皆さまの思いを、県議会にお伝え願います。



メールアドレス

[gikai@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:gikai@pref.ishikawa.lg.jp)